
解放

アオ

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

解放

【Nコード】

N6126C

【作者名】

アオ

【あらすじ】

何も言わなくなった母暴力を繰り返す父そして見て見ぬふりをし続けていた俺そんな家族の悲しい結末…

いつかはこうなる予感はしていた。

母さんはだんだんしゃべらなくなってくるし

父さんの酒癖は日に日に悪くなってくる。

それに、母への暴力も…

それに俺は気づいていた

それどころか、

母さんは、

俺に何らかのメッセージを残したのかもしれない

しかし俺は無視して

無視し続けて

結局気付かずに、今に至る

今日に至る

最初、「また、寝てるんだ…」とだけ思っていた。

母は

台所にあるテーブルにうつ伏せの状態でした

朝の光が、母の背中に当たる。

ぼくは、いつもどおり、ある言葉を何度も心で囁く

イツモノコトダ…イツモノコトダ…イツモノコトダ………

変わらない、その光景

母は、まだ動かない

「……………母さん」

掠れた声で、呼んでみるも返事はない

「…母さんっ」

信じられないぐらい、頼りない声が出たあとに、母が小さな声で「

……………起きてるわ」と言った。

ホッと胸をなでおろすと同時に

母の顔を見て、息をのむ。

「母さん……………その顔……………」

母の顔は、ボロボロに廃れていた。

額には痣がいくつもあつて

唇からは乾いた血が垂れていた。

しかし、一番ひどいところは、目だった。

片眼からおびただしいほどの血が

もう片方は、消えそうにない青い痣があつた。

そして、その眼から一筋の涙が流れてきた。

「^{あめ}冒……………ごめんね……………ごめんね……………」

母は、その涙を拭こうとしない。

「……………いいんだよ」

わかった…今…どれだけ、苦しんでいたのか

さつきまでは、母の体に隠れて見えていなかった、おびただしいほどの血が付いた包丁が目に入った

こんなにも、苦しんでいたのか……………

「^{あめ}冒……………ごめん…ほんと、ごめんね……………」

嗚咽が混じり始めて、ほとんど聞こえなくなった。

ただ、何も言えなかった……………

(後書き)

母親も

父親も

『親』であると同時に

あなたと同じ『人間』だということ

決して

壊してはいけない

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6126c/>

解放

2011年1月16日02時15分発行